平成20年度実績事務事業評価シート (Aシート)

「次こで十次人候子切テ木川両ノー							`	~~	' /	作成日	: 平成2	1年7月	月1日	
1/2	整理番号			01-02	20101007-04	事業種別	•	般		事業態	樣	á	継続	
7	事務事業名 消		沿	<b>当費生活啓発・相談事業</b>			区分	コード	?	名	称			
-	尹伤尹耒名 (日			<b>其生佔冶先・怕畝尹未</b>			会計	1	一般会計					
		区分	•	コード	名	称	款	2	総務費					
44	24	基本目	軍	15	5 安全・安心な環境のまちづくり		項	1	総務管理	費				
総合	前期	本平口	际	Ð			目	1	一般管理	費				
計	基	施	施策		防犯・消費者保護対	男 <b>犬</b> 口禁がなり来来		7	総務一般	管理事業				
画体	本計	ル世	策 5	Ð	別が、何其石体受力	1 米 り 圧圧	細々目	4	消費生活	啓発・相談事業				
系	画						枝番号							
		基本事	業	2	安全な消費生活の充実			事業の 去令等	☑ 有 無	肖費者基本法、消	費者契約	法等		
	事業期間				単年度 🗸 単年	F度繰返し	期	間限定	複数年度	(	年度 ~		年度	)
事業概要 (事業のあらまし)		)	消費者からの相談に応じて、問題解決に向けた指導、助言や専門の相談先を					もを紹介する。						
	31 - Mr			✓ 総台	計画 前期基本計画	<b>町主要事業</b>		担	当部課等	生活福祉部		生活安	安全課	
		画等での :置付け		自自	E的財政健全化計画	基本計画・構想・	新規事業	Ė	担当係	生活安全係	記入者	朝倉	清敏	
	1上巨下(7		平成20年度重点事業						一次評価者	者 (課長等名)	安田 ュ	章		

#### 1 行動方針 (PLAN)

	1130/021 (13111)								
事	対象 (誰を、何を)	消費者問題等に悩みをかかえている市民							
業	意図→目指す成果			区分	指標名	単位			
目的	(対象をどのよう な状態にしたいの	・悪徳商法等からの被害防止 ・消費者問題等の解決		成果	① 応対(処理先誘導)件数	件			
	カゝ)			指標	2				
_	t. GR.			区分	指標名	単位			
	F段 (事業の具体的な	・広報等による啓発 ・専門相談窓口への誘導		活動	① 窓口来庁・電話照会件数	件			
P	7容、手順等)			指標	2				

2 実施 (D0)○事業費と財源の推移

年度	平成20年度(注	夬算)	平成21年度(	決算)	平成22年度(決算)		
区分	経費	金額	経費	金額	経費	金額	
		(千円)		(千円)		(千円)	
	需用費	253					
	負担金補助及び交付金	8					
直接事業費							
		0.04	G to the state of		G 1 - 11 - 11 - 21		
	①事業費計	261	①事業費計		①事業費計		
人件費	②人数 (年)	0. 10	②人数 (年)		<b>&amp;</b> 人数 (年)		
	③平均人件費	8,608	③平均人件費		③平均人件費		
	$4 = 2 \times 3$	861	4=2×3		4=2×3		
総事業費 ①+④		1, 122					
	国庫支出金						
	県支出金						
1147年 中 30	使用料及び手数料						
財源内訳	地方債						
	その他	250					
	一般財源	872					

## ○事務事業の実績

		指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)
活動指標	1	窓口来庁・電話照会件数	件	30	30	30	30
伯男伯宗	2						

## 本宮市行政評価システム

○事務事業の成果

		指標名	単位	平成20年度 (実績)	平成21年度	平成22年度	平成25年度 (目標年度)	
成果指標	1	応対(処理先誘導)件数	件	30	30	30	30	
从本相标	2							

## 3 評価 (CHECK)

	1 次	:評価】							
		項	目	区 分		選択理由の説明	項目評価		
目的妥	1	意図が政策 びついてい	・施策体系と結 るか?	<ul><li> 結びつかない</li><li>✓ 結びついている</li></ul>	$\Rightarrow$	悩みを抱えた相談者が問題解決できることは、安 全安心なまちづくりに結びつく。	<ul><li>✓ 適切</li><li>✓ やや不適切</li></ul>		
当性	2	市が行うべき (関与すべき) 事業か?		<ul><li>✓ 行う必要がある</li><li>☐ 行う必要がない</li></ul>	$\Diamond$	消費者庁設立とともに、市町村は専門窓口を設置 する努力目標が定められている。	□ 不適切		
有効	1	目的を達成 (実施方法)	するための手段 は有効か?	<ul><li>□ 有効である</li><li>☑ やや有効でない</li><li>□ 有効でない</li></ul>	$\Rightarrow$	専門的な知識と対応が必要であり、現時点では、 向上は難しい。	<ul><li>適切</li><li>✓ やや不適切</li><li>不適切</li></ul>		
性	2	成果指標の 況は?	目標値の達成状	<ul><li>順調である</li><li>✓ やや順調でない</li><li>」順調でない</li></ul>	$\Rightarrow$	悪質な消費者被害問題が発生すると逆に相談者が 増加する可能性があり、目標設定自体が難しい。			
効率	1		業費又は人員に 果は得られてい		$\Rightarrow$	最低限の予算と人員で実施している。	✓ 適切		
性	2	効率的な方 いるか?	法で実施されて	<ul><li>✓ 実施されている</li><li>□ やや実施されていない</li><li>□ 実施されていない</li></ul>	$\Rightarrow$	複雑な問題には、専門の相談先を紹介しており、 効率的である。			
公平性	1	受益者の負: 定の個人や ないか?	担が適正かつ特 団体に偏ってい	<ul><li>■ 馴染まない</li><li>☑ 適正である</li><li>□ やや適正でない</li><li>□ 適正でない</li></ul>	$\Rightarrow$	すべての市民を対象とした事業であり、公平である。	<ul><li>✓ 適切</li><li>□ やや不適切</li><li>□ 不適切</li></ul>		
[ :	【2次評価】								
全体評価                   意    見									
	適切								

# 4 評価による行動 (ACTION)

		【1次評価】		【2次評価】
	今後の方向性	方向性に対する取り組み (課題と解決方法等)	今後の方向性	方向性に対する取り組み (方針の指示)
20年度	□ 拡大・重点化 ☑ 手段等の見直し □ 現状継続 □ 廃止・休止 □ 完了・終了	消費庁設立により、自治体の業務についても、国県等の動向を踏まえながら、適正な執行を検討している。解決する専門の処理先を照会する問い合わせが大半となってきている。 ○電話問い合わせでの受付での問題 内容を確認せず単に相談の担当課へということで他課の件も転送されることが多い。	手段等の見直し	
19年度	拡大・重点化		<ul><li>一拡大・重点化</li><li>一手段等の見直</li><li>一現状継続</li><li>一廃止・休止</li><li>一完了・終了</li></ul>	
18年度	拡大・重点化   手段等の見直し   現状継続   廃止・休止   完了・終了		放大・重点化   手段等の見直   現状継続   廃止・休止   完了・終了	